



6月1日～7日はHIV検査普及週間です

HIV/エイズについて考えてみませんか？

～沖縄県におけるエイズの現状～

沖縄県でのHIV/エイズの現状をご存じですか？

沖縄県は、全国的に見てもHIV感染者/エイズ患者の報告数が多い地域となっています。本県では、1987年以降、2024年までのHIV感染者とAIDS患者を合わせた累積報告数は、501件となっています。年別では2014年の33件が最も多く、その後減少傾向がみられ、2024年は、前年を3件下回るものの、11件（HIV感染者数4件、AIDS患者数7件）の報告があり、依然として感染が広がっている状況です。

診断時に既にエイズを発症している事例（いきなりエイズ）の割合は、毎年全国平均が約30%となっています。本県では2011年以降、2016年及び2017年を除き全国平均を上回り、**2024年も大幅に63.6%と上回っている**ことから、早期発見のための検査機会を逸していると推察されます。また、厚生労働省エイズ動向委員会によると人口10万対における報告数で本県は、毎年全国の上位に位置し、2024年はAIDS患者報告数は全国2位となっています。沖縄県感染情報センターによると、沖縄県のHIV/AIDS報告数2024年の報告届出数の内訳は年齢階級別では、40代が半数でした。性別は全員男性で、女性の報告はありませんでした。

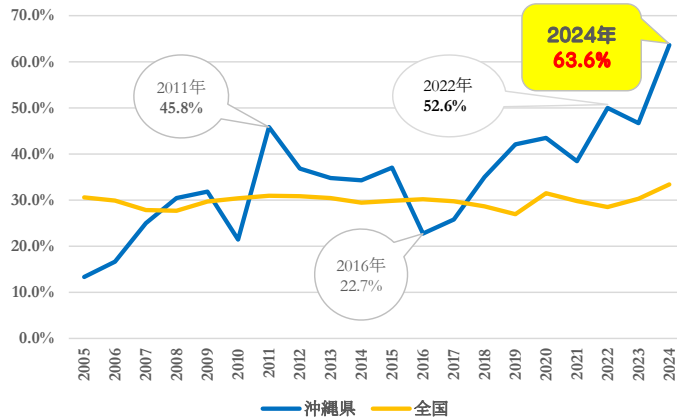
もしHIV陽性になったら？

エイズは、HIV(エイズの原因ウイルス)に感染するとおこる病気です。HIVに感染してから2～3週間すると、風邪のような症状がでます。その後、数年～10年くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。未治療だと進行し、微熱や下痢、肺炎等をおこし「エイズを発症した状態」＝「**AIDS患者**」となります。残念ながら現在はまだ、HIVを完治する治療方法はありません。しかしHIV感染を早期に発見し、抗HIV薬を服用すれば、エイズの発症を防ぐことが出来ます。また、服薬を継続することによって、体内でのウイルス増殖を抑え、検査でも検出できないウイルス量にすることが出来ます。これにより、健常時と変わらない日常生活と、非感染者と同じくらいの寿命が期待できます。

参考文献

- ・沖縄県感染情報センター「沖縄県のHIV/AIDSの発生動向2014年～2024年」
https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/413/hiv aids2014-2024.pdf
- ・厚生労働省エイズ動向委員会「令和6(2024)年エイズ発生動向年報(1月1日～12月31日)」
- 令和6(2024)年エイズ発生動向一分析結果—
<https://api-net.jfap.or.jp/status/japan/data/2024/nenpo/bunseki.pdf>

いきなりエイズ率(AIDS患者の割合)



令和6(2024)年新規報告数および人口10万対新規報告数の上位自治体

AIDS患者人口10万対		
1位	高知県	0.61
2位	沖縄県	0.48
3位	東京都	0.44



未来の自分のために…

HIV検査を受けてみよう！

宮古保健所では無料・即日・匿名でHIV・性感染症検査を受け付けています。

◆場所：宮古保健所 1階④検査室（電話：73-5074） 日時：毎週火・木の9:00～11:00、13:00～15:00

◆2026年6月1日（月）～5日（金）は世界エイズデーのイベントとして特例検査のため**毎日検査予定です！**

◆予約制ですので、**必ず事前にお問い合わせください。**（※2週間前から予約可能）

◆**宮古保健所のHPより検査の仮予約が出来ます！**

◆発熱・風邪症状、その他症状ある方は検査をお断りさせていただく場合があります。

